

ストーリーから見えてきた 必要な都市機能について



ストーリー① 赤磐版コンパクト+ネットワークの構築

- 【ストーリーを実現させるための施策】
- ・人口減少に対応した都市のコンパクト化、一体化
 - ・ハブ機能を持った新たな交通結節点の整備
 - ・各拠点に役割を持たせることによる必要な都市機能の集積・集約
 - ・各拠点を効率的に結ぶネットワークの強化
 - ・市域外の拠点とのネットワークの強化による通勤・通学の利便性の向上
 - ・公共交通の利便性向上による、子育て世代も高齢者も安心して歩いて暮らせるまちづくりの促進

ストーリー② 新たな時代に対応した都市構造の再編

- 【ストーリーを実現させるための施策】
- ・疲弊した都市の再生に向けた都市構造の再構築
 - ・都市構造の再編による、賑わいや交流のエリアとなる魅力的で新たな拠点の形成
 - ・時代の変化に対応した商業系から住居系への見直しなど適切な用途の再編
 - ・市の玄関口(顔)となり、中心となる「つながり」「交流する」エリアの創造
 - ・市外へ流出している買物客、観光客を市域内へ呼び込む、滞留させる仕組みの構築
 - ・アフターコロナを見据えた職住近接のまちづくり

ストーリー③ 赤磐の魅力を活かした移住定住の促進

- 【ストーリーを実現させるための施策】
- ・生活利便性の高い地域、より基盤の整った地域、安全な地域への居住の誘導によるコンパクト化
 - ・空き地や空き家の活用促進と世代循環による定住の促進
 - ・若者と高齢者が世代を超えて交流できる場、仕組みの構築
 - ・移住就業支援事業など各種支援制度の活用による移住定住の促進
 - ・様々な世代が住み継ぎつながる居住地としての住宅団地の維持・改善

ストーリーから見えてきた必要な都市機能

- ・交通結節機能…㊶
- ・子育て・医療・福祉・健康増進機能の集積化…㊷

- ・賑わい・交流の場…㊸
- ・買物客・観光客が滞留できる場…㊹
- ・アクセス性に優れた雇用の場…㊺
- ・新たな働き方に対応した雇用…㊻

- ・防災の拠点…㊼
- ・世代を超えて交流できる場…㊽



ストーリーから見えてきた必要な都市機能の具体化（１／３）

ストーリー① 赤磐版コンパクト+ネットワークの構築

【ストーリーを実現させるための施策】

- ・ハブ機能を持った新たな交通結節点の整備
- ・各拠点を効率的に結ぶネットワークの強化
- ・市域外の拠点とのネットワークの強化による通勤・通学の利便性の向上
- ・人口減少に対応した都市のコンパクト化、一体化
- ・各拠点到役割を持たせることによる必要な都市機能の集積・集約
- ・公共交通の利便性向上による、子育て世代も高齢者も安心して歩いて暮らせるまちづくりの促進

子育て・医療・福祉・ 健康増進機能の集積化…②

- ・子育て支援センター
- ・児童館
- ・こども園/保育園
- ・高等学校/大学
- ・一般病院
- ・診療所
- ・老人ホーム/デイサービス
- ・サービス付高齢者住宅
- ・スポーツ施設/健康増進施設

交通結節機能…①

- ・バスターミナル/乗り継ぎ拠点

区分	都市機能	施設（例）	各拠点への立地状況		立地状況の詳細
			都市拠点	生活拠点	
① （インフラ）	交通	バスターミナル 乗り継ぎ拠点	無	無	バスターミナルや充実した乗り継ぎ拠点は立地していない。
② （市民生活）	子育て	子育て支援センター	有	有	各拠点到立地しているが、山陽団地を含む市街化区域の砂川以南エリアには立地していない。
		児童館	無	無	調整区域に１か所立地しているが各拠点到には立地していない。
		こども園 保育園	有	有	都市拠点及び生活拠点到に８か所立地している。一方、山陽団地を含む市街化区域の砂川以南エリアには１か所しか立地していない。
	教育	高等学校 大学	無	無	熊山地域に高等学校が１か所あるが、各拠点到には立地していない。
	医療	一般病院	有	無	都市拠点到に赤磐医師会病院が立地している。
		診療所	有	有	民間の診療所が点在しているものの、産婦人科や耳鼻咽喉科などいずれの拠点到にも立地していない診療科もある。
	福祉	老人ホーム デイサービス	有	有	都市拠点及び生活拠点到に複数立地している。
		サービス付 高齢者住宅	無	有	生活拠点到に１か所しか立地していない。
	健康増進	スポーツ施設 健康増進施設	無	無	立地していない。



ストーリーから見えてきた必要な都市機能の具体化（2/3）

ストーリー② 新たな時代に対応した都市構造の再編

【ストーリーを実現させるための施策】

- ・時代の変化に対応した商業系から住居系への見直しなど適切な用途の再編
- ・疲弊した都市の再生に向けた都市構造の再構築
- ・都市構造の再編による、賑わいや交流のエリアとなる魅力的で新たな拠点の形成
- ・市の玄関口（顔）となり、中心となる「つながり」「交流する」エリアの創造
- ・市外へ流出している買物客、観光客を市域内へ呼び込む、滞留させる仕組みの構築
- ・アフターコロナを見据えた職住近接のまちづくり

賑わい・交流の場…㉔

買物客・観光客が滞留できる場…㉕

アクセス性に優れた雇用の場…㉖

新たな働き方に対応した雇用の場…㉗

- ・公民館/文化ホール
- ・観光交流センター
- ・商業施設
- ・宿泊施設
- ・飲食店
- ・企業オフィス/研究開発施設
- ・コワーキングスペース/シェアオフィス

区分	都市機能	施設（例）	各拠点への立地状況		立地状況の詳細
			都市拠点	生活拠点	
㉔ （市民活動）	文化	公民館 文化ホール	有	有	大集会室のある中央公民館が市役所に隣接して立地しており、生活拠点にもいきいき交流センターや山陽公民館が立地している。
		観光交流センター	無	無	小規模な観光情報発信施設（稚媛の里）が拠点から外れた調整区域に1か所立地している。立地の悪さや施設の老朽化もあり効果的・効率的に赤磐市の魅力を発信することができていない。
㉕ （産業）	商業	商業施設	有	有	日用品や食料品を購入できるスーパーやホームセンター等は各拠点に点在しているが、住民ニーズに対応した多様な商品を扱う商業施設は十分ではない。山陽団地を含む市街化区域の砂川以南エリアには1か所しか立地していない。
		宿泊施設	無	無	立地していない。
		飲食店	有	有	各拠点にいくつか立地しているものの、市民アンケート調査結果では不足している施設として認識されている。
		企業オフィス 研究開発施設	無	無	立地していない。
		コワーキングスペース シェアオフィス	無	無	立地していない。



ストーリーから見えてきた必要な都市機能の具体化（3/3）

ストーリー③ 赤磐の魅力を活かした移住定住の促進

【ストーリーを実現させるための施策】

- ・空き地や空き家の活用促進と世代循環による定住の促進
- ・生活利便性の高い地域、より基盤の整った地域、安全な地域への居住の誘導によるコンパクト化
- ・移住就業支援事業など各種支援制度の活用による移住定住の促進
- ・若者と高齢者が世代を超えて交流できる場、仕組みの構築
- ・様々な世代が住み継ぎつながる居住地としての住宅団地の維持・改善

防災の拠点…⑤

- ・備蓄倉庫
- ・防災の拠点となる公園や広場

世代を超えて交流できる場…⑥

- ・生涯学習センター
- ・公民館/文化ホール
- ・スポーツ施設/健康増進施設

区分	都市機能	施設（例）	各拠点への立地状況		立地状況の詳細
			都市拠点	生活拠点	
⑤ （防災）	防災	備蓄倉庫	有	有	各拠点に立地している。
		防災の拠点となる公園や広場	無	無	2次物資拠点として赤坂ファミリー公園が立地しているが、各拠点には立地していない。
⑥ （交流）	文化	生涯学習センター	無	無	世代を超えての交流や学習に特化した施設は立地していない。
		公民館 文化ホール （※再掲）	有	有	大集会室のある中央公民館が市役所に隣接して立地しており、生活拠点にもいきいき交流センターや山陽公民館が立地している。
	健康増進	スポーツ施設 健康増進施設 （※再掲）	無	無	立地していない。



ストーリーから見えてきた必要な都市機能の整理

区分	都市機能	施設（例）	各拠点への立地状況		立地状況の詳細
			都市拠点	生活拠点	
㊤ （インフラ）	交通	バスターミナル 乗り継ぎ拠点	無	無	バスターミナルや充実した乗り継ぎ拠点は立地していない。
㊦ （市民生活）	子育て	子育て支援センター	有	有	各拠点に立地しているが、山陽団地を含む市街化区域の砂川以南エリアには立地していない。
		児童館	無	無	調整区域に1か所立地しているが各拠点には立地していない。
		こども園 保育園	有	有	都市拠点及び生活拠点に8か所立地している。一方、山陽団地を含む市街化区域の砂川以南エリアには1か所しか立地していない。
	教育	高等学校 大学	無	無	熊山地域に高等学校が1か所あるが、各拠点には立地していない。
	医療	一般病院	有	無	都市拠点に赤磐医師会病院が立地している。
		診療所	有	有	民間の診療所が点在しているものの、産婦人科や耳鼻咽喉科などいずれの拠点にも立地していない診療科もある。
	福祉	老人ホーム デイサービス	有	有	都市拠点及び生活拠点に複数立地している。
		サービス付 高齢者住宅	無	有	生活拠点に1か所しか立地していない。
	健康増進	スポーツ施設 健康増進施設	無	無	立地していない。
㊧ （市民活動）	文化	公民館 文化ホール	有	有	大集会室のある中央公民館が市役所に隣接して立地しており、生活拠点にもいきいき交流センターや山陽公民館が立地している。
		観光交流センター	無	無	小規模な観光情報発信施設（稚媛の里）が拠点から外れた調整区域に1か所立地している。立地の悪さや施設の老朽化もあり効果的・効率的に赤磐市の魅力を発信することができていない。

区分	都市機能	施設（例）	各拠点への立地状況		立地状況の詳細
			都市拠点	生活拠点	
㊨ （産業）	商業	商業施設	有	有	日用品や食料品を購入できるスーパーやホームセンター等は各拠点に点在しているが、住民ニーズに対応した多様な商品を扱う商業施設は十分ではない。山陽団地を含む市街化区域の砂川以南エリアには1か所しか立地していない。
		宿泊施設	無	無	立地していない。
		飲食店	有	有	各拠点にいくつか立地しているものの、市民アンケート調査結果では不足している施設として認識されている。
		企業オフィス 研究開発施設	無	無	立地していない。
		コワーキングスペース シェアオフィス	無	無	立地していない。
㊩ （防災）	防災	備蓄倉庫	有	有	各拠点に立地している。
		防災の拠点となる 公園や広場	無	無	2次物資拠点として赤坂ファミリー公園が立地しているが、各拠点には立地していない。
㊪ （交流）	文化	生涯学習センター	無	無	世代を超えての交流や学習に特化した施設は立地していない。
		公民館 文化ホール （※再掲）	有	有	大集会室のある中央公民館が市役所に隣接して立地しており、生活拠点にもいきいき交流センターや山陽公民館が立地している。
	健康増進	スポーツ施設 健康増進施設 （※再掲）	無	無	立地していない。



《都市機能誘導区域と誘導施設の設定に向けたプロセス》

